

『わたしの後ろだ！』

(マルコによる福音書 8:27-38)

「あなたがたはわたしを何者だと思ふのか」という主イエスの間に、ペトロは「あなたは、メシアです。」と信仰告白しました。しかし、彼が本当に主イエスを理解していたか、知っていたかというところではありません。なぜなら、ペトロもまた他の人々同様、ローマ帝国の支配から力強くイスラエルを解放してくれる救い主としての主イエスを求めていたからです。それ故ペトロは、主イエスのご自分のご受難についてお話しをされたとき、主イエスを脇へつれていき、いさめました。ここで「いさめる」と訳されている言葉は、この直後に主イエスがペトロを「叱って言われた」という「叱って」と同じ言葉です。ペトロは主イエスをメシアであると言いながら、不遜にも「そんなこと言われちゃ困る」と、叱りつけたのです。

主イエスは神の思いから離れているペトロに、「サタン、引き下がれ。」と叱りました。厳しく感じられる言葉です。しかしここで「引き下がれ」と言われている言葉は、実は愛情にあふれています。「引き下がれ」と訳されている言葉は「わたしの後ろだ！」という意味なのです。ペトロは、戦場で自分の力を過信して、敵の前に無防備なままに出ていく若者のようです。そのペトロを主イエスはご自分の後ろにまわして守られようとしているのです。主イエスの後ろにいれば、神から離れさせようとするあらゆる力から守られます。叱ってくださる主イエスの愛がここに表されています。

ペトロは自分の願望や思いにとらわれてしまったために、神の思いから離れてしまいました。イエスを「主」と呼ぶわたしたちも、自分にとって都合の良い「主イエス」を作り出していないでしょうか。主イエスは十字架上で死ぬメシアです。わたしたちは自分の思いを、主の思いへと変えていただかなければなりません。そのために日々、「あなたがたはわたしを何者だと思ふのか。」という主イエスの間に立ち返り続け、先立つ主イエスの後ろ姿を見つめながら、歩んでまいりましょう。